

2015年10月6日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報47号

ニテロイ市内で殺人事件が発生

10月3日(土)、リオ市と隣接するニテロイ市(リオ市の通勤圏内に位置し、邦人も多数居住)のファベラ(スラム街)に迷い込んだ車両がマフィアと思われるグループから銃撃20発を受け、助手席に乗っていた女性1名が死亡する事件が発生しました。

1. 発生日時

2015年10月3日(土)午後8時から午後9時頃までの間

2. ニテロイ市 CARAMUJO(カラムージョ)スラム街内

3. 被害の状況

- (1) リオ市レメ地区在住の老夫婦(夫70歳、妻69歳)が自宅を出発し、ニテロイ地区の「AV. QUINTINO BOCAIUVA」に向かった。
- (2) ニテロイ市内で道に迷い、同市内で最も危険なファベラといわれる上記カラムージョスラム街に入り込んだ。
- (3) 夫婦はファベラ内で突如マフィアと思われるグループに襲われ、身の危険を感じた夫が車両を発進させたところ、いきなり20発余りの銃撃を受け、助手席に乗った妻に約3発が命中、運転していた夫も怪我をした。
- (4) 夫はそのまま近くの AZEVEDO LIMA 病院まで車を運転し、治療を受けたが、妻は病院内で死亡した。
- (5)

【当館から】

報道によれば、被害者は、自宅を出る際、ナビ・アプリの「WAZE」アプリを利用して、目的地として同市内「AV. QUINTINO BOCAIUVA」を入力したところ、ナビは、非常に類似した名称の場所である「RUA QUINTINO BOCAIUVA」(注:上記カラムージョ・ファベラ内)をガイドし、結果としてファベラに迷い込んでしまったとのことです。

- (1) GPSに頼りすぎると危険です。「近い道」より「安全な道」を選択しましょう。
- (2) 道に迷った際、周辺の様子に異変を感じたら、直ぐに来た道を引き返しましょう。
- (3) 万が一ファベラに迷い込んでしまったら、可能な限りの手を尽くして早期離脱を図って下さい。